

第18回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会 会議録

日時：令和5年12月18日(月)19:00～20:00

場所：多治見市立笠原中学校 会議室

【出席者】

委員：長江委員、鈴木委員、近藤委員、稲葉委員、森本委員、前田委員、
水野(豊)委員、加知委員、加藤(智)委員、杉村委員、東山委員

事務局：教育長、副教育長
教育推進課 丹羽、南谷、加納(裕)、福岡
教育総務課 市川、高田、瀬瀬
教育研究所 久野
教育相談室 古川

【欠席者】

委員：吉田委員、内記委員、加藤(裕)委員
事務局：中島

(要点筆記)

開会	
会長	・第18回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を開会します。
次第1 教育長挨拶	
教育長	・本日はお忙しい中第18回目の研究会にお越しいただき誠にありがとうございます。10月1日付で新たに教育長に就任しました仙石と申します。よろしくお願いいたします。先日、笠原小学校の150周年記念行事の際に挨拶をさせていただきました。その場にいた5・6年生に向けて、私は笠原が大好きだということを伝えさせていただきました。理由としては、この研究会もそうですが、笠原町では町民全体が笠原町のことを考え協力していく、皆で笠原町を盛り上げていくという空気が強い地域だと感じるからです。本日は、そのような場である研究会のデビュー戦となります。熱い議論となることを期待しております。もう一つ御縁を感じることで、6・7年前教育総務課長という立場で、笠原小中一貫校の議論をスタートさせた時期でした。今回6年ぶりに教育委員会へと戻ってまいりまして、ここまで具体化していることに感慨深いものがあります。これまでは地域の方々の関心はどのような校舎ができるのだろうかというものでしたが、今回の議題でもあるようにソフトの部分でも、どんどん外に向かってアピールができるよう、今回の議論が盛んになることを期待します。本日もよろしくお願いいたします。
次第2 視察報告	
会長	・次第2「視察報告」について事務局に説明を求めます。 (事務局より説明)

会長	・只今の報告について、意見・質問等はありませんか。
委員	・回覧資料を見ると校歌が２つありますがそれはどのようなものとなっているのでしょうか。
視察した 委員	・開校時には各学校の校歌を引き継いだものを愛唱歌として、これから新しいものを考えていくそうです。
委員	・笠原小中学校では、北方町立南学園のように特別教室等の使用のルールについて小中ですり合わせていく必要があるのか、教室は十分に確保されているのかどちらでしょうか。
笠中校長	・体育館は２つありますので融通は利きますし、グラウンドも広いので調整はしやすいと思います。特別教室は部屋数が限られるため時間割の調整は必要になると考えています。
委員	・視察先の学校は既にある学校を使用しているのですか。
視 察 し た 委員	・既にあった校舎を活用し、足りない部分は増築するといった対応をされたそうです。
委員	・入学式・卒業式についてですが、前期課程修了の際には儀式的行事としての卒業式はないということですか。
視 察 し た 委員	・前期課程の修了証書は授与されますが、儀式的行事としての卒業式は行わないそうです。
会長	・視察に行って感じたことですが、南学園では説明会を重ね地域の方に周知をしているようです。笠原小中学校に関しましても、地域の方々へ情報提供等の広報活動に力を入れて取り組むようにしていただきたいです。

次第３ 笠原小中学校校歌・校章について

会長	・次第３「笠原小中学校校歌・校章」について事務局に説明を求めます。 (事務局より説明)
会長	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・現在の中学校の校章は鳥でしたよね。
笠中校長	・はい。鳩と「中」の文字をペンで表しています。
笠小校長	・小学校の校章は「笠」の文字を校章としています。
委員	・提示されたデザイン案の中から選ばばよいのですか。
事務局	・はい。この中から選び研究会の意見として伺いたいと思います。
教育長	・今日皆様に責任を持って決めてくださいというわけではなく、どの様に校章を決めていくのか率直な意見を伺いたいです。例えば小中学生にアンケートを取ってみるといったことや、研究会で第１案、２案まで決めて最終的には教育委員会会議で決定するという形も考えられます。皆様の中で、デザイン案の中ではこれがいいといったことや、決め方はこうすれば良いのではないかとといった様々な意見が出ることを期待して今回のデザイン案を提示させていただきました。

委員 事務局	・色は決まっているのですか。 ・現在、色は決まっておりません。作成業者の方に意見を出すこともできますので、色に関するご意見もあればお伺いいたします。
委員	・笠原と一目でわかるので案１か案２が良いのではないかと思います。案１はシンプルでわかりやすく、案２もデザインに込められた意味が良いと思いました。
笠小校長	・案１は現在の笠原小学校の校章に近いと思います。
委員	・案１の「笠」の字は少し太くしていただくとわかりやすい「笠」の字となって良いのではないかと思います。
委員	・案４はどこの学校か一目ではわからないと感じます。
委員	・校章を生徒が実際に使う場面はどのようなときでしょうか。
笠中校長	・中学生は学生服の襟や胸部分に使用しています。
笠小校長	・小学生では、帽子で使用されています。
委員	・後は中体連等で使う校旗で使用されるくらいですよ。子どもたちが実生活で意識する機会はそれほどないと思いますので、一目でわかる方が良いと思います。
笠小校長	・後は小学校で使用する場面としては児童会の役員に渡す認証状での使用や、校内で渡す賞状等にも使用しています。
委員	・そういった用途となるのであればやはりシンプルな方が良いのではないかと思います。
委員	・アンケートをとることについて、子どもたちにとって興味があるかどうか気になりますが、お母さま方はどう思われますか。
委員	・子どもたちは、かっこいいやかわいいで選んでしまうのではないかと思います。
委員	・アンケート等なしでいきなり、この校章になりましたというのも少しかわいそうかなと思います。
委員	・確認したいのですが、校章のデザインについて文字を太くする等の要望を聞いてデザインし直すことはまだ可能でしょうか。
事務局	・はい。まだ要望を聞いていただけるため、いただいた意見は作成業者の方へ伝えさせていただきます。
委員	・案３、４のような開校年の記載はいらないと思います。
委員	・もう少し絞ったもので、何かしらのアンケートは行った方が良いのではないかと思います。どうでしょうか。
委員	・研究会の意見だけだと偏ってしまうので、子どもたちの意見を伺ってほしいため、アンケートは良いのではないかと思います。
会長	・この場では中々時間が少ないので、もう少し考えさせていただきたいです。一旦この議題については持ち帰らせていただいて、各自このデザイン案についての意見を考え、そのうえで決めていければいいかなと思います。

事務局	・デザイン案について委員の皆様の考えられる時間を取り、欠席された委員の方を含め、次回の研究会で決定していくという形でよろしいでしょうか。
会長	・委員が揃った上で合意形成していきたいと思いますのでそのような形でお願いしたいです。
事務局	・かしこまりました。それでは次回の研究会でご意見をお聞かせいただければと思います。
次第 4 検討状況について	
会長	・次第 4 「検討状況」について事務局に説明を求めます。 (各ワーキンググループ検討状況について報告・説明)
会長	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・今の年長の子どもたちについては通学の練習は個々でするしかないということでしょうか。
笠小校長	・11月の就学時健診の際に個々で練習するようにお願いしています。入学説明会がこれからあるのでそこでも同様に練習するようにお願いさせていただきます。
委員	・通学路の練習についてですが全学年一斉に行うのですか。
事務局	・練習で全学年一斉に通学班で笠原中学校まで登校し、ある程度中学校で過ごす取り組みを行うことを考えています。
委員	・制服決定の全体的なスケジュールはまだないのですか。
事務局	・制服を変えていくときには、業者の方も製作期間が必要となります。イメージとして考えているのは、今年度中にどのスタイルにするかを決定します。そして来年度 P T A の方と学校の方による制服検討委員会を作り、その中でどのようなスタイルにするのかを検討していきます。来年度制服の方針が決まりましたら、令和 7 年度の P T A 総会である程度の形をお示しできるように準備したいと考えています。そのためには今年度中スタイルをどうするか決定する必要があると思いますので、今アンケートを取り急ぎ行おうとしているのはそのような意図があるためです。
委員	・制服以外のスケジュールは決まっていますか。
事務局	・ポロシャツやカッターシャツ、靴、鞆等は制服のスタイルが決まってから進めていくものであり、それについても来年度中に制服検討委員会の中で進めていきたいと思います。
委員	・スケジュール感を保護者の方へと説明するタイミングが必要となるのではないのでしょうか。
教育長	・アンケートを取る上で、制服等の決定方法、スケジュール、なんのためのアンケートなのか、それらをしっかりと説明したうえで、アンケートを一つの周知を図る道具の一つとして活用できたらいいと思います。

会長 事務局	アンケートは多数決を取る意味も多少ありますが、周知、理解へとつながるための効果があると思います。
教育長	・ いずれにせよ情報を提示していただけるとありがたいと思います。 ・ かしこまりました。先ずスタイルを決めてからスケジュールが決まってくると考えていましたが、アンケートを使いながら、保護者の方へスケジュール等をお示しできるようにしていきたいと思います。 ・ 制服のことだけでなく、頃合いを見てワーキンググループ等の報告をまとめて、どのような形で情報提供するのもも含め教育委員会内で決めていきたいと思います。
次第 5 その他について	
会長	・ 次第 5 「その他」について事務局に説明を求めます。
会長 委員	(笠原小学校外壁アスベスト除去工事のお知らせについて事務局説明) ・ 只今の報告・説明について、意見・質問等はありませんか。 ・ 当初研究会で令和 6 年度より除去工事が始まると聞いていましたが、その後研究会で報告がなく、始まってしまいました。本当に今年度から始めなければいけなかったのでしょうか。子どもがまだ授業を受ける中、騒音等で差しさわりのあるのではないかと思います。
事務局	・ 説明がなかったことについては申し訳ございません。他の自治体で材料が入らないといった事例や、人手不足といった懸念がありました。令和 8 年度の開校までに、確実に工事を完了させるため、今回の除去工事を先に実施させていただいております。過去にも市内の他の学校でも授業を行いながら工事させていただいております。教室に面した部分の除去は冬休みにやるといったような工夫をしながら、差しさわりの無いように実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
委員	・ 当初の説明と違い、現在工事が行われており、工事の幕で暗くなる中や騒音の中で、子どもが授業を行うのは本当に教育環境としてどうなのかと疑問に思います。
事務局	・ 教育環境の影響については私たちの方でも考えましたが、社会情勢等を鑑み、やむを得ず実施させていただいております。学校とも相談しながら、子どもたちの授業に少しでも影響のないように工事を進めております。
教育長	・ 変更についての協議を研究会でしなかったことについて教育長としてお詫び申し上げます。工事が始まっておりますので、話が合ったように今後の行程の中で少しでも工夫ができないか、どこまでできるかお約束はこの場でできませんが、教室付近は、極力冬休み期間中や土日など子どもたちがいない日で実施する等検討させていただきます。研究会に諮らず変更があったことにつきましては改めてお詫びさせていただきます。

笠小校長	す。申し訳ございません。
委員	・現状だけお話させていただきたいと思います。校舎は防音シートで覆われておりますので、夜間学校のような明るさとなっています。音に関しては、会話が聞き取れないことがあり、小学生が大きな音が出るような環境に耐えるのは難しい状況だと思います。窓も開けられないため換気もできません。ずいぶん大きな音なのでこれが何日も続くと子どもたちにとっては難しいかなと思います。
事務局	・どれくらいの期間で行われるのですか。今普通特別教室棟で作業されているのですよね。
委員	・おっしゃる通り現在は普通特別教室棟の北側、冬休み期間中に南側の工事をします。冬休み終了後プール棟の方へ移動します。
笠小校長	・学童保育は冬休みもありますので、その辺りも配慮いただきたいと思います。
教育長	・学童保育の教室は工事から一番離れたところにあるため影響は少ないと思われます。
会長	・説明があった通り、冬休みまでの一週間を我慢していただけたら、校舎部分の工事は終わりますので、ご協力をお願いいたします。
事務局	次回の研究会について事務局に説明を求めます。 （事務局説明） 次回開催：令和6年1月15日～1月19日のどこか。 （決定後事務局より連絡）
副教育長挨拶	
会長	・最後に、副教育長よりご挨拶を願います。
副教育長	・皆様本日はありがとうございました。11月28日に教育総務課の者と仮設校舎を見学しました。現在は建物自体が出来上がり、内装に取り掛かっているということでハード面の準備が着々と進んでいると感じます。一方で校章のデザインで多様な意見を伺うことができよかったです。またワーキンググループでは苦勞しながら物事を進めていただいているという状況です。いずれにしましても、子どもや保護者の方にできるだけプロセスに携わっていただければと思います。完成前に卒業する子どもも含めそれぞれの立場から学校が生まれていく所を見届けていただければと思います。特に子どもたち自身が、アンケートで自分の意見を伝えることや、校舎見学等の経験を経て携わっていくことができたかなと思います。改めて本日はありがとうございました。
閉会	
会長	・以上で、第18回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を閉会します。

—以上—